

# 東濃社会教育だより



恵那県事務所  
振興防災課 振興防災係  
社会教育担当:丹羽 達也  
〒509-7203  
恵那市長島町正家後田 1067-71  
TEL:0573-26-1111 内線 208

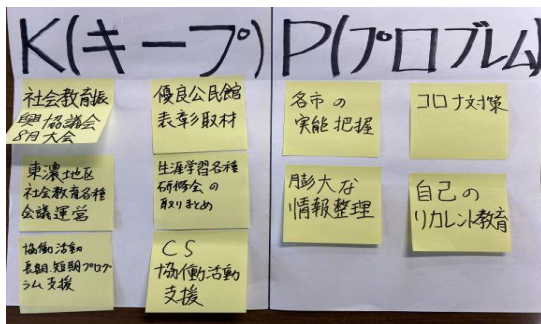
## R4 地域学校協働活動推進員等育成研修会

「地域学校協働活動推進員等育成研修会」の4回目が、12月1日(木)に岐阜大学で開催されました。前回までの3回は、サテライト会場および個人でオンラインによる研修でしたが、最終回となる今回は県内の受講者、約60名(東濃地区からは13名参加)が一堂に会して行われました。質疑応答やグループ交流場面では、参加された方々が積極的に発言したり、交流したりする姿が随所にみられ、参集型の良さを改めて感じる事ができました。

### <ケプト法(KPT法)の紹介> K(キープ)、P(プロブレム)、T(トライ)

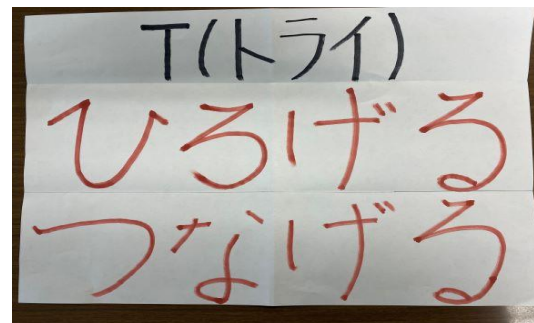
研修会の後半は、ぎふ地域学校協働活動センター長の岐阜大学、益川浩一教授が「研修のまとめ」を、「ケプト法」を使って行いました。ケプト法を用いることによって、振り返るべき項目が整理され、ミーティングが終わってから「何をすればよいのか」が明確になりました。

- ①5～7人のグループを作る。
- ②A3用紙の左側に「K(キープ) = 今年度の実践、続けたいこと、成果等」を付箋紙に書いて貼る。
- ③右側に「P(プロブレム) = 困っていること、課題等」を付箋紙に書いて貼る。
- ④グループ内で交流する(1分で仲間に説明し、仲間はそれに係る発言をする)。
- ⑤最後に、すべての人が全員に向かって、今後T(トライ)することを発表する。



👉 成果

👉 課題



👉 目標(キーワード)

会の最後に、環境生活政策課の堀課長補佐より、「来年も同様の育成研修を開催する」ことや、受講修了者に対する「フォローアップ研修を開催する」等の話がありました。地域学校協働活動本部や学校運営協議会において、地域学校協働活動推進員はその運営の核となって活動されることが期待されています。次年度以降も各市で本研修を積極的に活用し、地域と学校が連携・協働した活動を推進していただきますようお願いします。

また、受講された方の中には「来年度からは学校運営協議会に参加する。」と、次年度の活躍の場が決まっている受講者がみえる一方で、「研修には参加したが、来年度については何も決まっていない。」と話す方もみえるようです。受講修了者が所属する地域において力を発揮できるよう、各市における環境づくりも急がれます。

# 自治会青少年育成推進員による地域振興

恵那市の「自治会青少年育成推進員研修会」に参加させていただきました。各自治会の青少年育成推進員は、地域で子どもたちを守り育てる青少年育成事業の推進者として、重要な役割を担っています。会の後半で、武並地区と岩村地区の実践発表がありましたので紹介します。

## <岩村町青少年育成町民会議の活動紹介>

岩村町では豊富な地域教育資源や人材を活かした8つの重点活動を行っています。その中の体験プログラム『いわむら五っこ』の紹介をします。

『いわむら五っこ』とは岩村町を舞台に開催する手作り体験や街歩き体験などのプログラムの集合体。タイトルは五感体験の「五」と、子供の遊び〇〇ごっこの「ごっこ」を組み合わせ、学び遊ぶことの楽しさを表しています。

### 【岩邑小学校土曜授業において体験授業を開催】

- 1年生＝からすみ団子づくり
- 2年生＝絵手紙
- 3年生＝モザイクタイル工作
- 4・5年生＝クラフト、藍染め等、9講座から選択
- 6年生＝「言志祭(げんしさい)」に参加



推進委員の近藤明浩さんからは「講座は全部で23講座ある」ことや「最初(7年前)は神奈川県湯河原町を視察して、町内の各種団体を中心に声掛けをし、フェイスブック等での募集も行いました」等、地域体験プログラムが軌道に乗るまでのプロセスを教えてくださいました。

## <武並町青少年育成町民会議の活動紹介>

武並町では「地域みんなで武並町の子どもを育てる」をスローガンに地域のふれあいを大切にしたい活動が行われています。

### 【地域みんなでラジオ体操】

小学生が「おそいチラシ」と「ラジオ体操カード」を全戸に配布し、1日平均270名が参加する大イベントになっています。活動を開始して3年目ですが、すっかり地域に定着しているようです。

### 【見守りボランティア委員会】

毎日の安全指導をはじめ、バス停での登校指導、一斉登校指導日、挨拶運動、交通安全に関わる交流事業など、活動は多岐にわたり、見守りボランティア登録数はなんと175人。まさに地域みんなで見守り、子どもたちを育てています。



三学塾塾長の渡邊敬之さんは、地域や学校を積極的に回られながら対面での関りを大切にされ、「形を継承するだけでなく、思いや願いを共有しながら活動を継続していく」ことを念頭において、様々な地域振興活動に携わって見えました。